

無対他動詞の受身と自動詞の関係 —動詞のいくつかの類型について—

江田(ごうだ)すみれ
日本女子大学

本日の発表

- 問題提起
- 先行研究
 - 自他動詞と受身
 - 話し言葉・書き言葉と受身
 - 動詞の多義性と自他の対応
- 調査方法
- 他動詞の受身用法
 - 語義が少なく、受身が直接受身・間接受身として使われることが多いもの
 - 語義が少なく受身が自動詞として使われることが多いもの
 - 語義が多く、受身がある語義に偏るもの
 - 語義が多く、受身がある語義に偏り、その意味がもとの意味と異なるもの

問題提起

- 無対他動詞

自動詞の代わりに受身が使われる(安藤・小川2004、庵2012)

- 寺村(1982)

(1) 彼らはその日遂にパリの灯を見た。

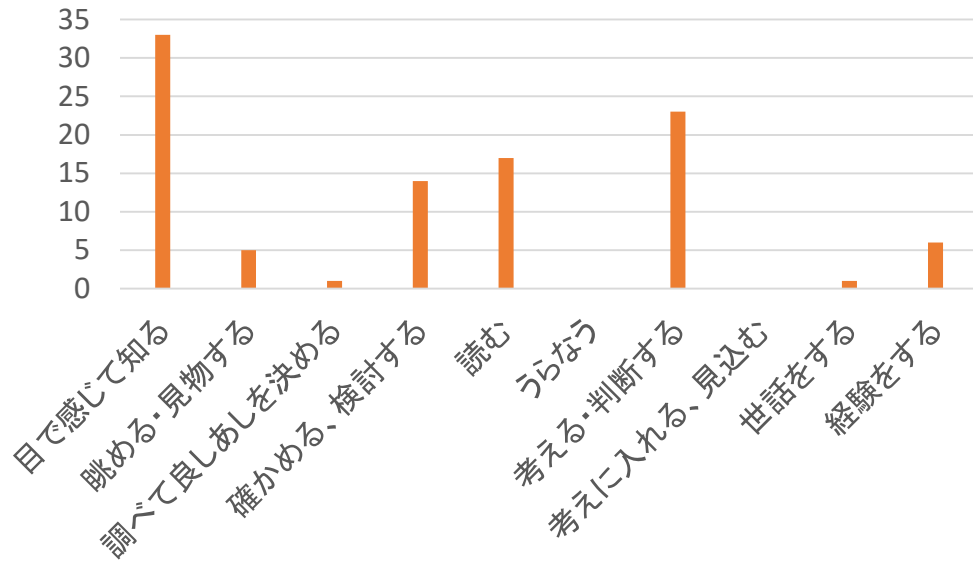
× (2) その日遂にパリの灯は彼ら に／によって／から 見られた。

他動詞は何でも受身にして自動詞として使えるわけではない。

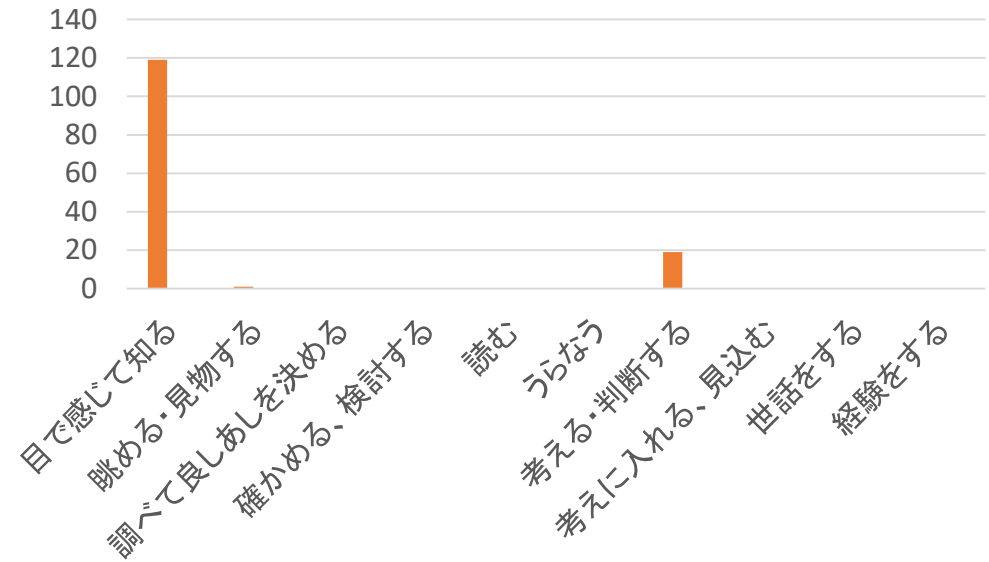
語義との関係を見てみよう。

4.2 見る

「見る」の意味『三省堂国語辞典第七版』



「見られる」の「見る」の意味



先行研究

2.1 自他動詞と受身

- 日本語記述文法研究会(2009)

直接受身・間接受身・持ち主の受身

直接受身文

対応する能動文の補語の表す人や物を主語として表現

目的 対応する能動文の補語の前景化、主語の後景化

間接受身文

対応する能動文の表す事態には直接的に関わらない人物を主語とし、話し手がその人物と事態を主観的に関係づけ、事態と間接的な関係をもったものとして表現

持ち主の受身

対応する能動文のヲ格や二格名詞などの表す人や物の持ち主を主語として表現

- 奥津(1967) 自他動詞の対応
語幹が共通
自動詞は他動詞に比べ項が一つ減る
- 益岡(1987) 昇格受動文・降格受動文
昇格受動文 心理的物理的影響
属性
降格受動文 動作主を背景化
動作主は表面に現れない
適当な自動詞表現がない場合、降格受動文がその補充

- 日本語記述文法研究会(2009)

- 降格受動文と直接受身・間接受身・持ち主の受身

- 直接受身

- [有情物・有情物]型 [無情物・有情物]型

- 主体の背景化を動機とするものあり

- [有情物・無情物]型 [無情物・無情物]型

- 間接受身

- 文中の名詞が一つ増える 自動詞の考察の対象外

- 本発表の受身の分類

- 直接受身・間接受身・持ち主の受身・自動詞的受身

本発表の受身の定義

- 直接受身 自動詞化の検討の対象外
能動文が想定できるもの 影響を受ける側を主語とすることが目的
行為者が想像できるもの
(3)国会議員はその責任を常に自覚してしてもらわなければならない。国民から軽蔑されたり、不信感を持たれるようなことでは困る。
- 間接受身 自動詞化の検討の対象外
主観的に影響を感じていると表現
主語と補語を入れ替えて能動文にできないもの
(4)クライアントが自分の悩みをカウンセラー以外の人に聞かれないと
- 持ち主の受身 自動詞化の検討の対象外
(5)何を基準に借入能力を見られるのでしょうか(私の借入能力)
- 自動詞的受身文 降格受身文
行為者が不特定多数、行為者を表現することに価値がおかれていない文
項が一つ減る 対応する能動文がない

2.2 話し言葉・書き言葉と受身

- 横田(2011) 会話・新書の受身
新書は降格受身文が多い
- 江田(2013) 会話・ブログ・新書
新書では行為者が不特定多数の直接受身が多い
- 本発表は書き言葉を調査対象

2.3 自他の対応と語義

- 有対自他動詞に見える場合も一部意味的に対応しない場合あり

つかむ(他)／つかまる(自)

(6) 誰カガ私ノ腕ヲツカンダ。

× (7) 私ノ腕ガツカマッタ。(例文6・7、正誤判断寺村1982)

(を)とおす(他)／とおる

(8) テレビやラジオを通して宣伝する。

あの人には、人を通して紹介してもらった。

(が)とおる(自) (8)の意味の「とおる」はない(江田・相澤・白鳥2018)

- 語義について検討

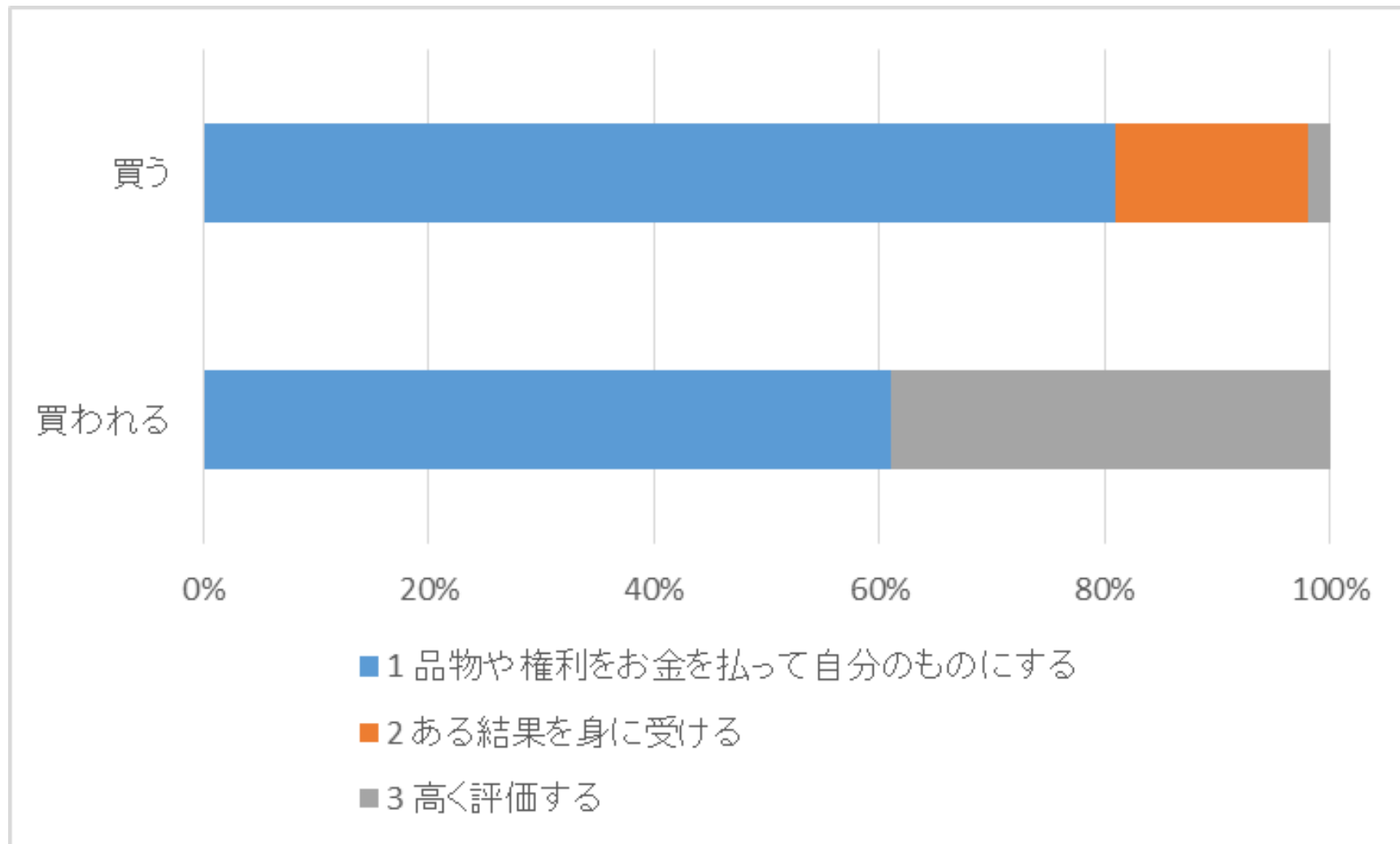
3 調査方法

- 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』(BCCWJ)
語彙表 使用頻度の高い他動詞
書く 買う 作る 使う 行う とる 呼ぶ
見る 持つ 聞く
- 「中納言」語彙素読み 100例 意味分類
文字列検索 「見られ」「持たれ」
- 出版書籍 社会科学・自然科学
- 使用辞書 『三省堂国語辞典』一部『例解国語辞典』

4 他動詞の受身用法 動詞の類型

- 語義が少なく、受身が直接受身・間接受身として使われることが多いもの
例 買う
- 語義が少なく、受身が自動詞として使われることが多いもの
例 行う 書く
- 語義が多く、受身がある語義に偏るもの
例 使う 作る 示す とる
- 語義が多く、受身がある語義に偏り、その意味がもとの意味と異なるもの
例 見る 持つ 聞く

4.1 語義が少なく、受身が直接受身・間接受身として使われることが多いもの—買う



- 買う

- 品物や権利をお金を払って自分のものにする ノートを一、金で一
- ある結果を身に受ける 颯感を一、一役一でる、恨みを一
- 高く評価する 人柄を一、努力を一れる

- 買われる

(9)「初めから上場しなければよい。上場している以上、株は誰に買われても文句はいえないはず」といっている話のことです。(直接受身)

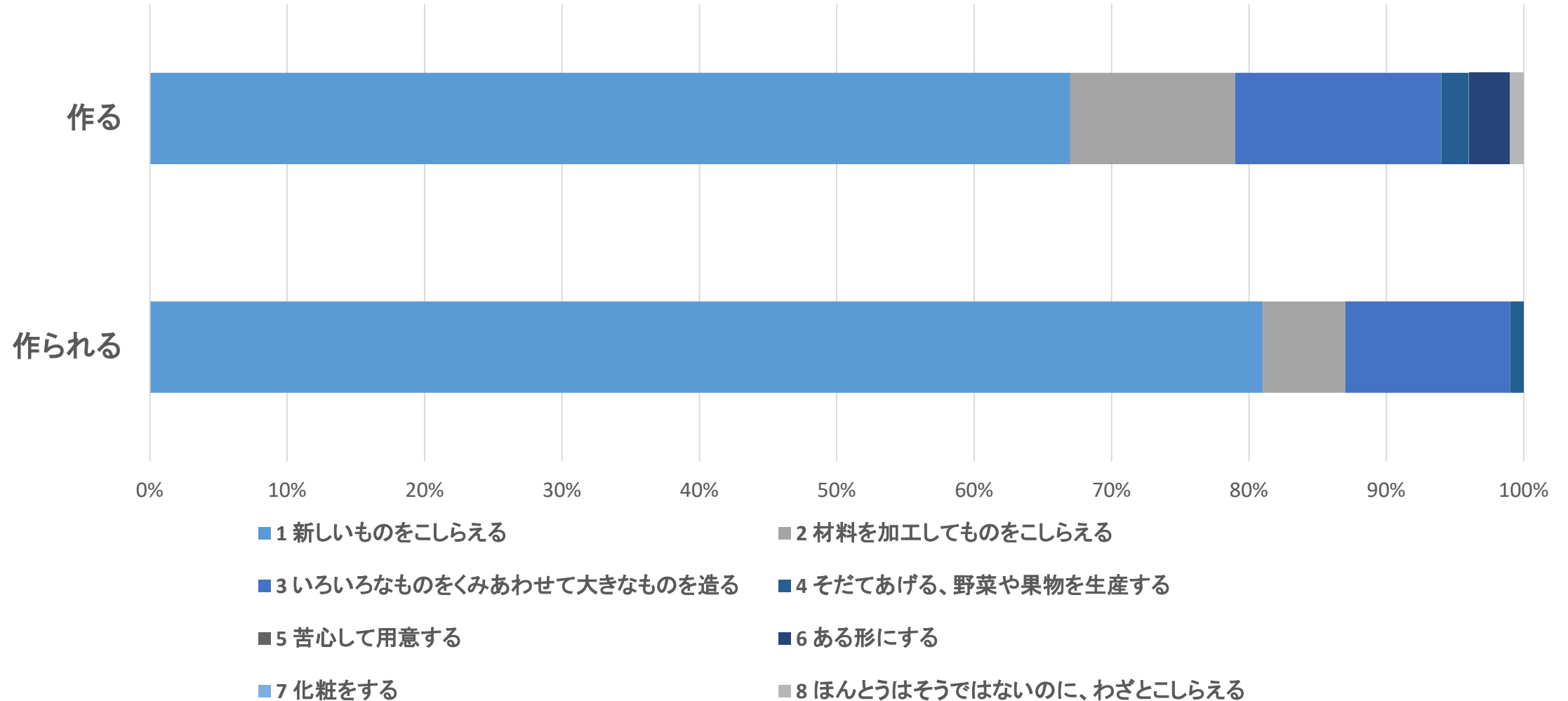
(10)その幅広い人脈と経験を買われ、コーディネーターとして着任したのである。(高く評価する)(持ち主の受身)

- 18例中 直接受身・所有物受身が9例

4.2 語義が少なく、受身が自動詞として使われることが多いもの—行う・書く

- 行う 形式や慣例にしたがって、あることから実際にすすめる。
- 行われる ①もよおしなどが実行される ②世の中で使われる『例解国語辞典』
(11) 訓練基地には子供もおり、徹底的なイスラム原理主義教育が行なわれ、命令には命を捨てても従うように育てられる。
- 書く ①ペンや筆などを使って表す
② 文章や作品を作る
(12) 共産党への干渉にのりだしたスターリンらの狙いは、この文章に表向きに書かれたものとは、まったく違っていました。

4.3 語義が多く、受身で用いられる語義に多少偏りが見られる語—作る・使う・示す・とる



「作られる」の例

- 「=できる」 行為者不明

(13) 左に進むと、南米から運んできたという赤く艶々した木材で作られた階段があった。
た。 (=でできた)

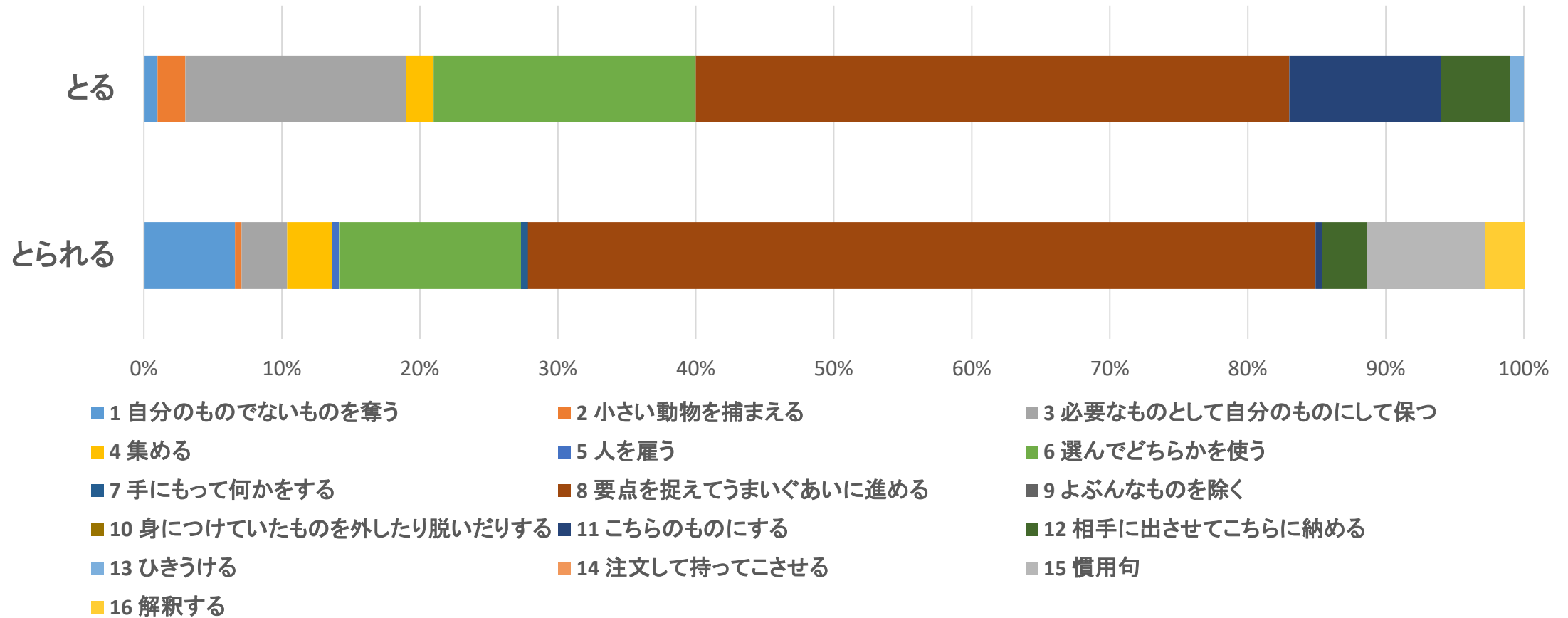
(14) つまり、「自動車もめったに走らないような道路」ばかりが作られてしまうことになる。

(15) こうして明治以降、音楽と言えばイコール西洋音楽と考える空気が作られていったのだ

(16) 森林は、落ち葉の堆積層から作られた腐葉土を通過することによって鉄分を含んだ栄養素のある水を

- 行為より結果に焦点 意図的な作成とはいえない

「とられる」



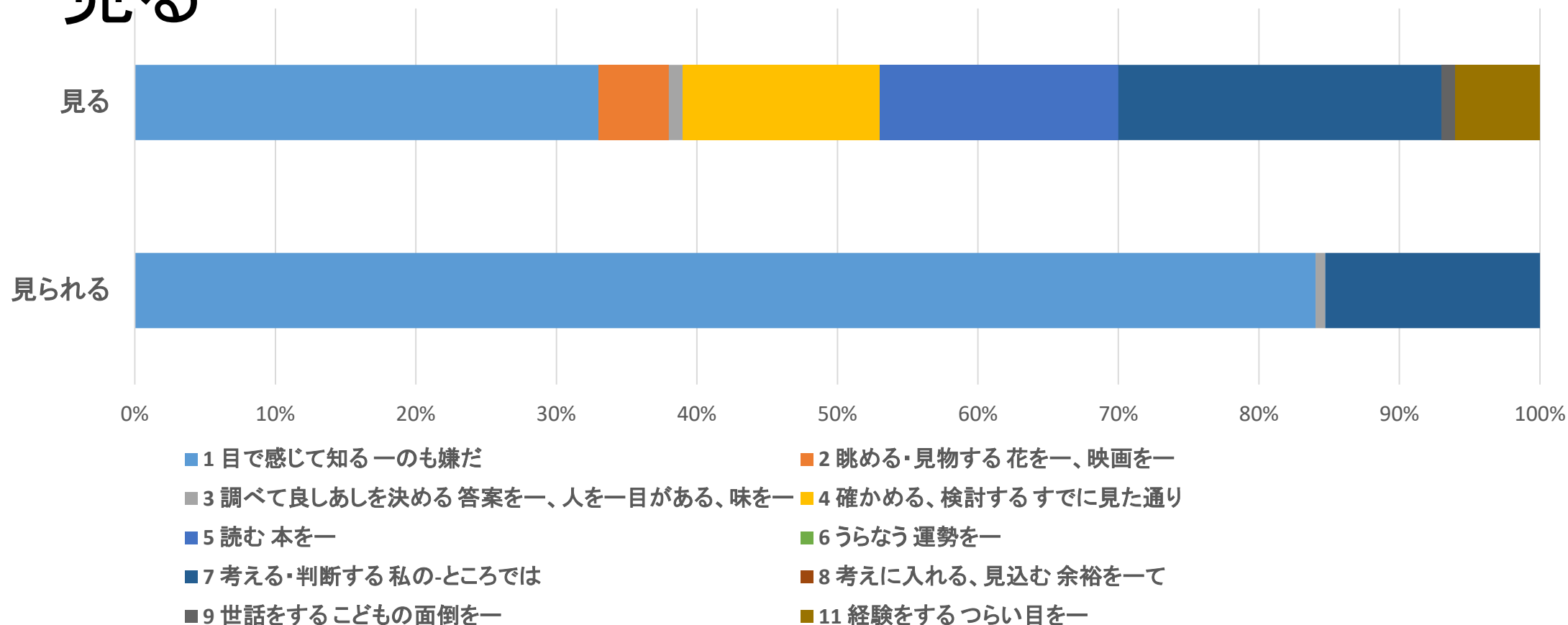
- とる 8・6・3・12 『例解国語辞典』
 - 8 要点を捉えてうまいぐあいに進める 音頭を一、バランスを一、指揮を一 進行・遂行
 - 6 選んでどちらかを使う AよりBを一、南の航路を一 選択
 - 3 必要なものとして自分のものにして保つ 場所を一、時間を一、手間を一らせる
 - 12 相手に出させてこちらに納める 税金を一
- とられる
 - 8 方法・対策・措置・やり方・対応・仕組み・手段・手法・調和・段階・行動
 - 6 態度・形・～制・視点・建前・表現

「とられる」 あるやり方を不特定多数の人がする

(17)また、本児への虐待が認められない時点で、養育困難を理由としてきょうだいに対し、乳児院入所措置がとられている場合もあり、施設との連携も必要となろう。

(18)そのため、先進国を中心に、軍事力の使用に対しては従来に比べてきわめて抑制的な態度がとられるようになった。

4.3 語義が多く、受身がある語義に偏り、受身で使われる意味がもとの意味と異なるものを見る



「見られる」の例

- ある

(19) 公庫廃止(民営化)を唱えている人達に多くみられる。

(20) 否定的評価は、十九世紀後半から二十世紀初頭の改革者に典型的にみられ、それがマシーン打倒の運動へとつながっていった

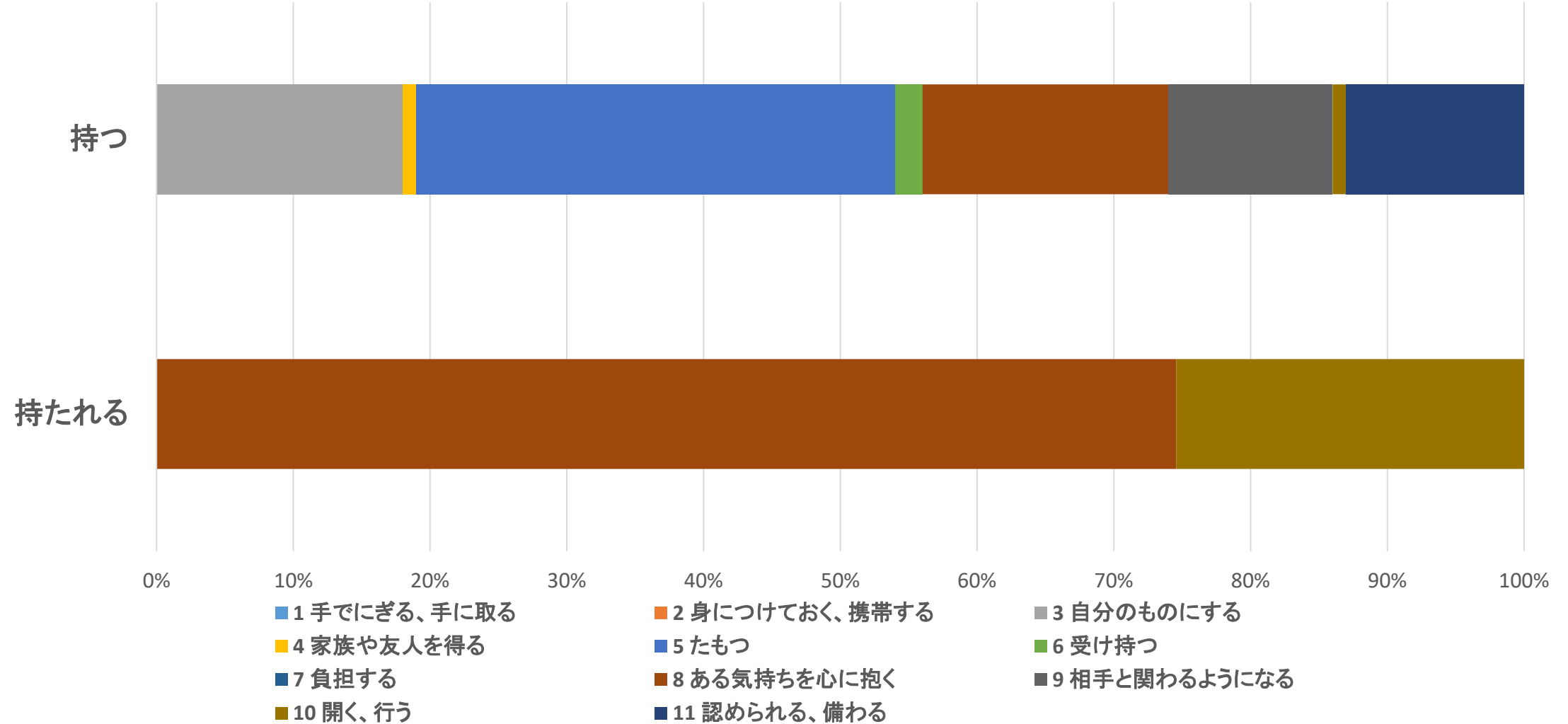
- 推定される・例のように

(21) グアテマラのティカルにおいては、祭祀センターと見られる、アクロポリス形式の建築物群が建造されている。(=と考えられる)

(22) 日本でも(中略)女子雇用者の比率の上昇にみられるように、「労働力の女性化」が進んでいく。(=の例のように)

(23) 爆破および放火に見られる、北アイルランド事件に関する一連のテロ行為のキャンペーンがあった。(=の例のように)

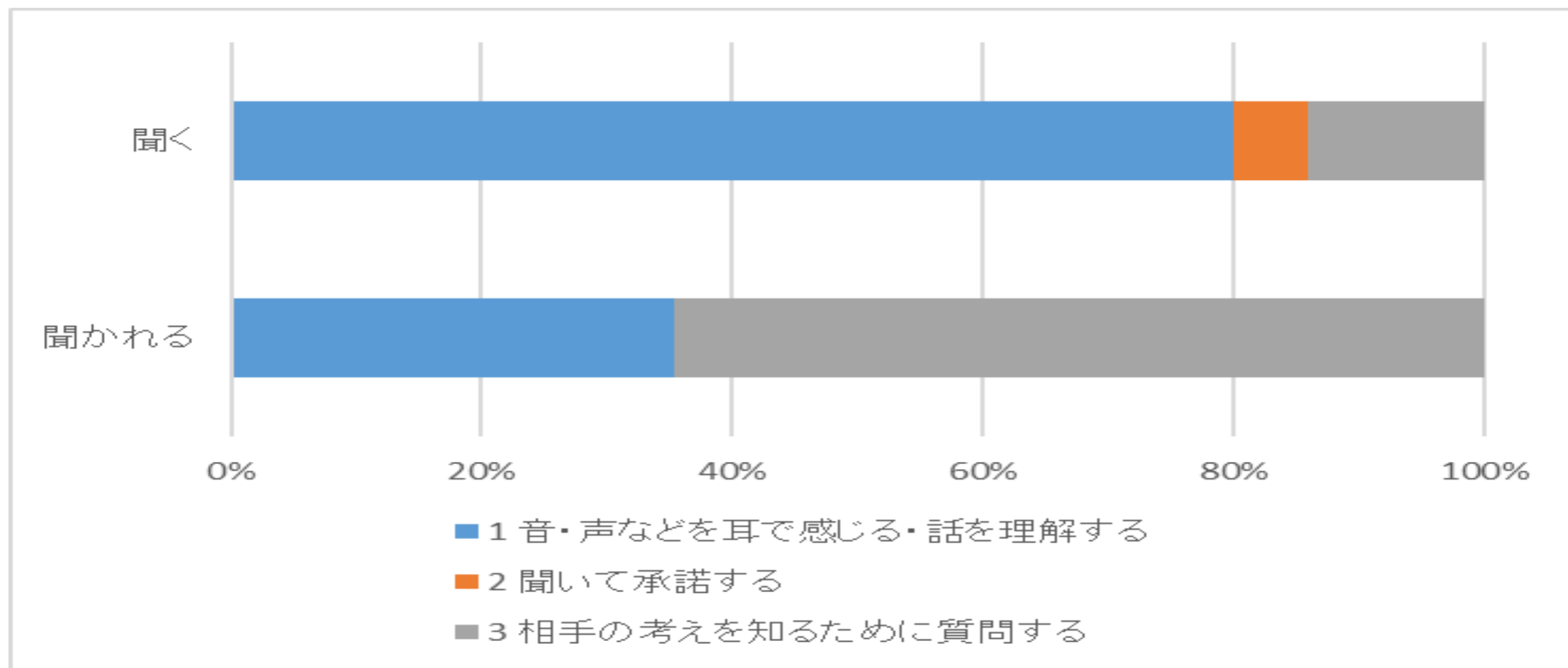
持つ



「持たれる」の例

- 「持つ」は「自分のものにする」「たもつ」の意味
- 持たれる
- 「ある気持ちを持つ」→ある気持ちが自然に起こる、存在する
 - (24) 各社に対しては、持株比率を二十%未満に押さえて、関連会社にもしていない点にも疑問がもたれる。
 - (25) 有効な介護が行われることによって医療に頼っていた高齢者の生活に変化が現れることに期待がもたれる。
- 会合を行う
 - (26) 「中央社会福祉協議会」の呼びかけによって、全国各地で「としよりの日」の行事がもたれた。
 - (27) 特別な議題がない限りは、四半期または半年に一度の会合がもたれている。

聞く



「聞かれる」の例

- 元の意味により、受身の種類、意味が異なる。
- 「音などを耳で感じる」→「ある表現が広まる」「一般に受け入れられる」
(24) 九十九年の暮れ頃から「eマーケットプレイス」という言葉が聞かれ
始め、最近では新聞でも時折見受けられるようになった。
(25) より安全性を重視する傾向が強まりました。超低金利を嘆く声も聞
かれます。
- 「質問する」の意味での受身は直接受身
(26) 5時半のことでした。本堂に入ると、子供たちは名前を聞かれ、
座ってからお経を聞きました。

5 まとめ

- 他動詞はどの語義でも一律に受身にして自動詞として用いることができるわけではない。
- 動詞によって、受身にした場合、直接受身・間接受身・自動詞的受身の出現状態が異なる。
- 動詞によって、能動文でよく使われる意味と受身で使われる意味が異なる場合がある。
- 動詞によって、自動詞的用法になる語義に偏りがある語がある。
- 動詞によって、受身で使われた場合の意味が狭い語がある。
- 動詞によって、受身になった場合、辞書的な意味とずれる使い方をする語がある。

参考文献

- 安藤節子・小川誉子美(2001)『日本語文法演習 自動詞・他動詞、使役、受身ーボイスー』スリーエーネットワーク
- 庵 功雄(2012)『新しい日本語学入門』スリーエーネットワーク
- 江田すみれ・相澤早帆・白鳥藍(2018)「中級クラスにおける自動詞・他動詞の実験授業の報告ー語彙教育・文法理解と状況理解を目的としてー」『小出記念日本語教育研究会』
- 江田すみれ(2013)「テキストの違いと受身文の違いー会話・ブログ・新書の受身の使われ方をもとにー」『テキストにおける語彙の分布と文章構造 成果報告書』国立国語研究所
- 志波彩子(2009)「ヴォイスからモダリティへー「と見られる」を例にー」『日本語文法学会 第10回大会予稿集』日本語文法学会
- 寺村秀夫(1982)『日本語のシンタクスと意味 I』くろしお出版
- 日本語記述文法研究会(2009)『現代日本語文法 2 格と構文、ヴォイス』くろしお出版
- 横田亜朱紗(2011)「コーパスを使用した受身文調査ー受動化の意味による分類からー」『国文目白』50号
- 益岡隆志(1987)『命題の文法』くろしお出版
- Yukio Tono, Makoto Yamazaki, Kikuo Maekawa(2013) *A Frequency Dictionary of Japanese*,
• Routledge, New York

ご清聴ありがとうございました。
江田すみれ goda@fc.jwu.ac.jp